

第23回特別展

—一遍上人と時宗—

中世を旅する聖たち展



※この図録は完売いたしました。

半生におよぶ遊行の旅に生きた時宗の宗祖、一遍上人（1239～89年）が兵庫の観音堂（神戸市兵庫区の真光寺付近）で波乱にとんだ生涯を閉じて700年になることを記念して開催。全国各地を旅（遊行）し、往生を約束した札をくばり（賦算）、踊り念仏（踊躍念仏）などのわかりやすい方法で多くの人々の心を燎原の火のようにとらえていった一遍上人や時宗の人々がはたした社会的・文化的役割に注目して展観した。

会期／昭和63年6月11日（土）～7月24日（日）

会場／特別展示室1・2、南蛮美術館

主催／神戸市立博物館、朝日新聞社、朝日放送

後援／時宗総本山清浄光寺

開館日数／38日

入館者数／16, 653人

出品件数／90件173点